



12 子育てサロンたびこ

ひたちなか市

サロン開設年月日	平成18年6月15日
開催日及び開催頻度	月1回 第3木曜日 (10:00~11:30)
開催拠点	田彦公民館
代表者氏名	横須賀 長二
1回の参加人数	平均25人
1回の運営スタッフ数	平均10人
参加費	無料



事業名

子育てサロン活性化事業

目的(趣旨)

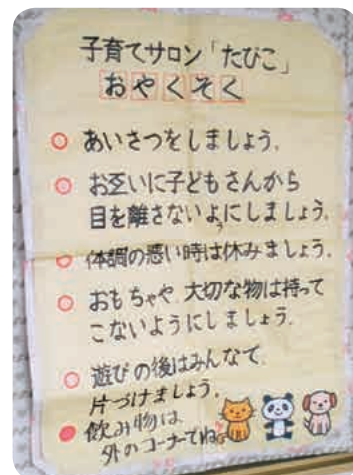
- 子育てサロン
- 子どもの自由遊びと親の交流の場づくり

対象者や具体的内容

- 0歳～未就学前の子どもと親。
- 自由遊びの見守りと親間の交流、赤ちゃん体操・出前保育・季節ごとのイベント。

財源の確保

- 社会福祉協議会の支援。
- 助成金に積極的応募。
- 地域作りの会。



生活課題への対応

- 各家族で母親が孤立しないように（育児放棄・DV・ネグレクト等の予防）。

継続させるための工夫

- 各自治体との連携。
- 回覧の協力。
- 民生委員の輪番制。

サロンのPRポイント

- 男性スタッフの積極的参加（受付・駐車場は男性、季節ごとの飾りつけは民生委員全員で担当・作成）。昨年は新型インフルエンザの対応を徹底しました。



地域の社会資源の活用

- 民生委員主体と地域のボランティア。
- 地域づくりの会。
- 田彦公民館・児童館の活用。

他のサロンにはない特徴

- 見守り主体
 - ・ 子どもが自由に遊び母親が気楽に参加できる。
 - ・ 赤ちゃん体操
 - ・ 季節ごとのお楽しみ会
- 冷暖房完備の児童室（公民館）



委員からの一言コメント



ひたちなか市は日立製作所をはじめ、企業に関わる住民が多く、そのため県外からの移住者も多い地域特性を持ちます。子育て中の母親にとっては、子どもと過ごす日中の時間の中で、時に育児に悩み、時にストレスの解消の場として必要とします。「子育てサロンたびこ」は、まさに地域ニーズが生み出したサロンと言えます。特に目玉となるよう

な企画はなく、ただ子供たちは部屋の中で遊び、母親同士は会話を楽しんでいました。そのような日常的な時間が育児にゆとりと自信をもたらすのかもしれませんが。民生委員を中心とするスタッフは「見守る」という位置関係で、親子主体の活動に配慮しているあたりも参加者が増加している要因かもしれません。実は運営に際し、裏側ではかなり線密な準備がなされており、スタッフの方々の努力と熱意が感じられました。（能本守康 委員）